


令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立桜小学校 】

1 実践テーマ	IV
2 実施対象者 (学年・人数)	6学年・84名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 1 教科名 () 2 行事名 () ③ その他 (総合的な学習の時間) (2) 地域における活動 1 イベント名 () 2 その他 ()
4 目標 (ねらい)	郡山市国際政策課の国際交流員を講師に「郡山市のホストタウン・オランダ王国について学ぼう！」をテーマの講演会を通して、国際理解・異文化理解を深める。
5 取組内容	郡山市文化スポーツ部国際政策課国際交流員 ヨースト・クラルト氏を講師に講演会を開催 

6 主な成果	<p>○講師は日本語がとても堪能で、映像やユーモアを交えながら、国土や生活、文化についての違いなどとてもわかりやすく説明があった。一方、ファンドールの業績を紹介され、郡山市との昔からのつながりも感じることができた。楽しく国際理解、異文化理解を図る貴重な機会となった。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○今年度本校では、「国際理解」「異文化理解」をテーマに取り組んできた。その成果として、外国は日本と全く違う文化であるというイメージを持っていた児童が、確かに違う部分はあるが同じ考え方も持っていることに気付き、いろいろな国や文化に触れてみたいと考えるようになった。このような学びを通して、外国人への先入観から差別や偏見をもたない児童の育成をすすめ、また現在のコロナ禍にある中での差別や偏見をなくすようにしていきたい。</p>
8主な課題等	<p>○講演会のみならず、活動を多く取り入れた交流をすすめるようにしたいところだが、コロナ対策との兼ね合いが難しい。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>○国際理解・異文化理解をメインに、全校規模での取り組みに拡大する予定である。</p>